

天寅の会 2/17

・今年度の現地調査データおよび各種データの整備状況を確認 by みんな

石本最新調査：

日常的サポート（共同労働・共同消費）

臨時的サポート（モノ・お金のやり取り）←分析開始。まだ数例しか分析に取り掛かれておらず、報告書ではケーススタディという形で分析

・データ統合という観点から、どんなことが新たに発見できそうかを議論 by みんな

・これまでのデータ解析（多雨被害畑と地形との関係、現金収入獲得状況分析など）に加え、今回石本くんが現地調査されてきた結果や、空中写真・衛星画像データをどのよう盛り込んでいけるか？のアイデアを出し合う by みんな

→井戸（ポンプ/水汲み場）と世帯・集落の配置、人間関係（親族など）、地形・土地利用との関係

・ウシ GPS データの確認（岡本調査の現状）by 石本
（基本的に GPS 計測は1世帯ウシ2台、ヤギ1台）

サイト A（sianemba 3世帯+1世帯(cattleのみ）/siameja 1世帯）、サイト B（malabali 1世帯/kanego 1世帯）で、月2回15日と30日に実施

聞きとり：放牧経路、ウシの売り買い等の情報をメモ

2010/1/15～雨季・乾季 サイト C（siachaya 3世帯）でもウシ GPS 開始

5か村：家畜・家禽の頭数調査スタート（資産状況の把握）

→これまで現金獲得状況（%）での相対量で把握していたが、絶対量で家畜の売買状況が把握可能。

継続するなら、

→あらゆる資源へのアクセス、村レベルでの土地被覆・土地利用への環境変動（気候変動が引き金となって起こる環境への変動）との関わりについて考える。（by よしむら）

→サンプル数が少なく、取得データの代表性を示すことが難しい。データの有意性が認められない。

→3/12 の会で、ウシ GPS 1年間での終了について、承認を頂く。

では、ウシ GPS データは、どうまとめていくか？

→耕作地や世帯調査データの参照データとして利用する。

→季節性は言えるであろう。サイト間の違いも明らかになるかもしれない。

・ Survey Dep. における航空写真撮影の件 by 宮崎
撮影はリクエストに応じて見積。
見積り作成を依頼。要検討。

・ 宮下生活スケジュール GPS (ウシ GPS と同じ世帯で)
2010 年 1 月よりスタート (以前のデータは宮下の調査データのみ)
女性だけでなく男性にも。
サイト A(sn で 3 世帯, sm で 1 世帯), B(ka で 3 世帯, ch で 1 世帯), C(4 世帯) の 5 カ村で実施。
隔週で、1 週間連続で (2 週間/月)

目的

→世帯間の労働力のやり取りを把握 (共同労働)
→男女間の生活スケジュールの違いを把握 (雨季と乾季で男女の時間別での行動の違いを比較)
の参照データとして用いる。
